
「中枢神経系悪性リンパ腫における治療に関する検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2024年2月29日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、注視数神経リンパ腫と診断され、検査・治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

中枢神経系に発生した悪性リンパ腫に対し、近年では大量メトトレキサート療法を軸とした多剤化学療法により治療成績が向上し、再発病変に対しても承認を受けた新規薬剤が使用され始めているが、再発する患者さんも多く初回化学療法や再発時の治療について確立されたものはない。当院は、悪性リンパ腫に対して本邦有数の加療施設であり、多くの患者さんの治療経過をもってより良い治療方法を検討する。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1ヶ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データ、診療記録、摘出腫瘍、髄液

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である三島 一彦が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

中枢神経系悪性リンパ腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 三島 一彦（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 福岡 真惟（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：中枢神経系悪性リンパ腫における治療に関する検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 三島 一彦